



茅野市民館の特徴

劇場・音楽ホール、美術館、図書室、多様な用途のある施設やスペース、レストランなどを合わせ持つ文化複合施設（Cultural Complex）です。演劇・ダンス・舞台表現、音楽・音、映像・映画、美術、文芸・言語——といった多彩なジャンルを掛け合わせ、新たな表現をつくりだすことが可能です。
JR茅野駅東口に直結した立地で、通行や待ち合わせにも使われており、さまざまな人が行き交い、集う、コミュニティ機能もあります。

「茅野市民館」はどんなところ？

さまざまな表現やアートと出会い、人と人がつながる、驚きや発見でいっぱいの「市民の館」です。構想段階から市民が直接参加し、平成17（2005）年10月にオープン。みんなで力を合わせる「市民協働」を実践しています。

「主催事業」とは？

茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造が主体となって計画・制作・実施する事業です。主催事業の実施を通して、地域の皆さんが、さまざまな芸術表現に触れる未知の経験や、市民参加・主導の創造体験の機会をつくることを目指しています。

市民から提案を募集するのはなぜ？

地域に暮らす一人ひとりの文化への思いや、さまざまな表現への興味を、皆さんとともに知恵や工夫を出し合い、主催事業として実現する「文化創造」のプロセスを大切にしているからです。「市民協働」の実践のひとつです。

お気軽に
お問合せ
ください

ご提案を
お待ちしております！



●募集受付期間	平成26（2014）年2月1日（土）～3月15日（土）※郵送の場合、当日消印有効
●実施対象期間	平成27（2015）年4月1日（水）～平成28（2016）年3月31日（木）
●募集内容	鑑賞・普及育成・創造・交流などの分野における、以下の事業アイデア ・地域住民の交流や地域の文化振興につながる事業アイデア ・公益性や文化的創造意欲、独創性が認められる事業アイデア
●申込方法	提案書（茅野市民館ホームページ http://www.chinoshiminkan.jp/ または茅野市民館事務室にて入手できます）に必要事項を記入し、茅野市民館事務室に直接お持ちいただくか、メール・Fax・郵送にてお送りください。
●お問合せ・ご提案先	茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造 〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 Tel 0266-82-8222 Fax 0266-82-8223 E-mail ask@chinoshiminkan.jp 開館時間：午前9時～午後10時 休館日：毎週火曜日（火曜日が祝日の場合その直後の休日でない日）



もっとつながる、
もっとひろがる。

平成27年度

茅野市民館主催事業アイデア提案の募集

事業の

創造

市民がつくる、新たにつくる

事業の



鑑賞

未知の表現、本物の芸術に出会う

事業の



普及育成

文化体験を通して心を育む

事業の



交流

出会い、集い、関わり合う

事業の



たね

募集します！

茅野市民館は「市民一人ひとりが主人公になれる場」

平成27（2015）年10月に10周年を迎えます

茅野市民館／茅野市美術館で、平成27年度に実施する主催事業のアイデア提案カルチャー culture（文化）の語源は「耕す」。あなたの手にある文化のたねで、「心を耕す」地域文化の花を咲かせてみませんか。

事業の



The place where every community member takes a leading role.
地域社会のあらゆる人たち（＝市民一人ひとり）が、主要な役割を担う（＝主人公になれる）場所

茅野市民館 5つの基本理念

- ・市民一人ひとりが主人公になれる場
- ・幅広い人々の交流の場
- ・芸術から産業にいたるまでの地域文化の創造と情報の受発信
- ・茅野市の顔としての環境づくり
- ・中心市街地のまちづくり

市民提案をもとにした事業 (平成25年度)



「カタカタ」こども映画教室 (12月7日)

ものが動いて見える映画のふしぎな魅力を、映画鑑賞(見る)と仕掛けおもちゃや映画フィルムの工作(作る)を通じて体験するワークショップ
提案者は運営スタッフとして参加しました

映像系ワークショップは
これまでなかった。
こどもたちが創造する場を設け、
さらにその上映会があると
良いのでは？
★事業企画会議より

参加したこども、大人、
ボランティアスタッフが
絵や色を描いた16ミリ
フィルムをその場でつなげ、
16ミリ映写機で
「みんなの作品上映会」に
実を結ぶ!



「茅野カブかん囃子 ～郷土の唄めぐり～」 (8月4日)

地元出演者による郷土の唄・芸能と、地域の名所や風土を歌詞にした
日本舞踊「茅野カブかん囃子」(振付:市川染五郎)を披露
提案者は地元出演者との交渉や舞台設営に参加しました



世界の音楽「アンデスの響き」 (11月30日)

南米アンデス地方の民族音楽フォルクローレのコンサート
学校での出張コンサートや関連企画として写真展も開催
提案者は企画内容の検討、取材対応、チケット販売に協力しました



提案 → 事業企画会議 → 主催事業決定!

市民提案者の プレゼンテーション!

提案者が集まり、
企画に込めた思いを伝える
プレゼンテーションを実施。
さまざまなアイデアを知り、
交流する機会になりました。
(5月)



提案は、4月から始まる「事業企画会議」に提出し、
6回ほどの話し合いで意義・内容・予算を検討、
具体的な事業案に絞り込みます。
その結果をもとに主催事業実施計画案を作成し、
茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造の
取締役会で承認・決定されます。

事業企画会議から

平成25年度
3回目の事業企画会議。
各提案をカードにして、
「ジャンル・潮流」を横軸、
「対象の広さ・深さ」を縦軸に
並べて事業バランスを
みました。
(6月)



事業企画会議とは

市民・指定管理者・コアアドバイザー・オブザーバー*で構成
※株式会社地域文化創造取締役やNPO法人サポートC事務局など

事業の 育て方

たねをまき、育て、花が咲き、実を結ぶ、市民による手づくりステージ! 「ステージづくり応援部」から「ステージづくり部」へ

舞台創造の
基礎を知り
(主催者)に挑戦!
★市民館担当者より

舞台(ステージ)にかかわる基礎知識を学ぶ講座とともに、
平成24年度は主催者に挑戦する「ステージづくり応援部」を実施。
平成25年度は「ステージづくり部」に発展し、参加者が演劇を創作、上演しました。

構成から上演まで
みんなで1つの劇作品を
つくってみよう!
★市民館担当者より

平成24年度 茅野市民館をサポートしませんか? ステージづくり応援部「やってみよう!ステージ」

平成25年度 ステージづくり部 活動中! ステージづくり部「やってみよう編」

● たねをまく (アイデア構想・企画立案)



8月、28人の市民が「部員」として
ひとりひとつ作成した企画提案書から、
地元出身アーティストによるダンスとコントの
融合した公演企画(撫肩 GUYDANCE)を
選びました。

本当に
自分たちで
できるのかな...?
★参加市民より



● 育てる (準備・制作)



1月の公演日まで20回以上ミーティングを重ねました。
・アーティストとスタッフをつなぎます(渉外)
・チケットの売れ行きに一喜一憂(チケット)
・舞台設営や手作り展示も(裏方)
・手書き文字に思いを込めたプレスリリース(広報)など...

あーだこーだ
語り合う
かけがえのない時間が
舞台のもと!
★参加市民より



● 花が咲く (事業の実施)



みんなの熱い思いと行動力でチケット完売!
手作りの工夫が光る楽しい展示に、
奇想天外な舞台設営、
パワフルでエネルギッシュな舞台は大成功!

いろんな人の
力が合わさって、
できちゃった!
★参加市民より



● 実を結ぶ (つながりとひろがり)(次の「たね」をまき)



8月末から10回以上のワークショップを通して、
市民とスタッフ21人が出演する
創作公演「ヨルノオハナシ」を上演しました。

裏方に
興味があるけど、講座で
「出演してみたいよ」と
言われて。経験してみると
クセになりそう...。
★参加市民より

